

講習の名称：和楽器を含む器楽授業のアイデア

担当講師：菅生 千穂（教育学部准教授）

講習開講日：令和2年8月22日（土）

時間数：6時間

主な受講対象者：

小学校・中学校および高等学校の音楽担当教諭。現在担当していなくとも、担当する可能性がある方、学校行事などにおける音楽発表の指導・サポートをされる方を含む。

キーワード：和楽器、箏、器楽合奏、創作活動

講習の概要：

本講習の最大の目的は、教員自身が箏に慣れ親しむことである。和楽器の中でも応用性の高い箏に特化し「箏の扱い方・奏法の基本」を講じ演習を行った上で、中学生や高校生のみならず、小学生でも楽しみながら演奏に参加することができる教材・活動のアイデアを受講者とともに探る。

講習の展開：

- 第1 時限      ガイダンス：箏の基本知識、扱い方
- 第2-3 時限      箏の基本奏法（演習）、調弦について
- 第4-5 時限      箏の応用（3人で1面の箏を使う合奏／創作：俳句やオルフェソード、地域の民話等の題材を用いる）
- 第6 時限      グループ発表、演習シート作成

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：楽譜が読める方が望ましい。

授業の形式：演習形式。受講生によるグループ活動も含む。

履修認定試験：

演習を通して習得した知識・技術を活かし、教材案の中からグループ発表を行う（実技試験）。また、講習の終わりに、受講生の現場環境を踏まえて、本講習の内容をどのように具現化することができるか、考察を深め講習時間内に演習シートを作成し、提出する。

テキスト・参考文献：【テキスト】プリントを配布予定。

【参考文献】 山内雅子・大原啓司『～授業や音楽会ですぐに使える～楽しい箏楽譜集』音楽之友社、2002

持ち物：

- ・箏爪（できれば生田流）・・・個人または学校で所有している方はお持ち下さい。
- ・チューナーおよびマイク(クリップ式)・・・お持ちの方は調弦に便利です。